

南 風

田富南小校長通信

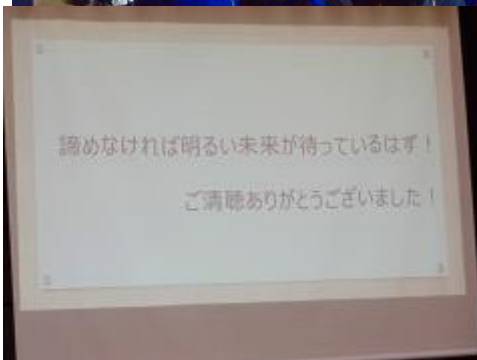
No. 19 1月26日(金)

Ⅰ 日学校開放日～^{どうとくこうえんかい}道徳講演会～

1月16日(火)は田富南小学校の1日学校開放日でした。コロナ禍の頃には人数制限をしたり、地区ごとに時間を区切ったりしていましたが、今年度はすべて制限をなくして以前のような1日学校開放日としました。当日は朝から子どもたちがどんな勉強をしているのか、どんな学校生活を送っているのか、などを^{おおぜい}大勢の保護者の方々に見ていただきました。(心なしか、子どもたちも^{うれ}嬉しそうな笑顔が見られました。)その午後には、本校の卒業生で、「左手一本のシュート」という本の主人公でもある田中正幸さんにお出でいただき、「前向きに生きる心」と題した^{こうえん}講演をしていただきました。

すでに子どもたちは、2学期からリレー読書としてこの本を読んでいたし、テレビドラマや他の番組を見て知っていた子どもたちも多かったです。田中さんが小学校3年生からバスケットボールを始めて優勝を経験。中学校で優勝・関東大会出場の中心選手・県の^{せんぱつせんしゅ}選抜選手として^{かつやく}活躍して高校進学。でもその直後に先天性の脳の病気から^{たお}倒れてしまったけれど、^{あきら}諦めないでまたバスケができるまでに回復・試合に出場。その後大学に進学。その人生を諦めずに何事にも「前向きな気持ちを持って生きている」ことについてのお話をしていただきました。わずか1時間ほどの講演でしたが、子どもたちは一所懸命に話を聞いていましたし、途中で出てきたテレビ番組の一部にも食い入るように見ていました。いつも机上での勉強が多いのですが、本当にいろんな経験をした方のお話を聞くということで、教室では学べない大切なことを学べたのではないかと思います。約70名を超える保護者の方々にも聞いていただきました。本当に^{きちょう}貴重な^{きかい}機会となったと思います。(なお、^{こうえんかいしゅうりょうご}講演会終了後田中さんが「教室を見たい」ということで、一緒に教室へ行き、3年生から6年生までと集合写真を撮ったり、握手をしたりと楽しい時間を過ごしました。)

子どもたちがこれから成長していく過程で、様々な^{こんなん}困難にぶつかることもあるかも知れませんが、でも決してあきらめずに、今の自分を^{かな}悲しまずに^{まえむ}前向きに生きていくことが大切なのだと思います。この講演会をきっかけとして、前を向いて進んでいけるようになって欲しいと思います。



スキー教室(5年生・6年生)

1月11日(木)に5年生・6年生がスキー教室で富士見高原スキー場へ行きました。今年は暖冬のためか雪が少なく、心配していたのですが、楽しく行くことができました。

今から30年以上も前には「スキーブーム」がおこり、日本全国にたくさんのスキー場ができて、たくさんの人がスキー場に行ったのですが、現在では本当に少なくなり、スキーやスノーボードを楽しむ人もそんなに多くはないので、家族でスキーに行くこともほとんどないのではないかと思います。そのため、自由の少ないスキーブーツを履いたり、スキー板をつけることから大変なのだと思います。でも、始めたばかりの時は、おっかなびっくりだったのが、帰るころにはだんだんと滑れるようになって子どもたちも多かったのではないのでしょうか？短い時間でしたが、普段はやることの少ないスキーを楽しむことができたように思います。また一つ貴重な体験ができました。



ご協力をお願いします。

よろしくお願いします



新型コロナウイルス感染症が落ち着き、学校の諸活動もコロナ禍前に戻ってきています。令和6年度もあと3ヶ月後くらいに始まりますが、令和6年度は今年度(令和5年度)よりも学校の活動が盛んになっていくことになります。そのため、学校の活動にも多くの保護者や地域の方にお力をお借りすることになります。学校運営協議会(コミュニティスクール)の活動やPTAへご協力いただくだけでなく、地域の方々に朝登校時に子どもたちの登校の安全を助けていただく「こども守り隊」へのご協力をお願いしたいと思っています。現在、大田和や山王地区から登校班が市川大門線を安全に渡って登校できるように指導していただく「こども守り隊」をお願いできる方々を探しています。お忙しい日々が続きますが、朝午前7時20分頃から約20分くらいで市川大門線「田富南小入り口」交差点付近で子どもたちの登校を助けていただきたいと思います。もし、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、田富南小学校までご連絡いただきますよう、お願いします。(電話055-273-9111)

